

ベルギー王立ブリュッセル音楽院チェンバロ科教授率いる、華麗なるベルギー古楽アンサンブル来日!

バルト・ナーセンス (チェンバロ・通奏低音・指揮)

Bart Naessens, harpsichord, basso continuo, artistic direction

ベルギーのブルージュ出身のオルガニスト、チェンバロ奏者、指揮者。

古楽大国ベルギー内外で活躍している通奏低音奏者の一人。これまでにラ・プティット・バンド、イル・ガルデリーノ、B'Rock オーケストラ、オランダ・バッハ協会、コレジウム・ヴォカール・ヘント、イル・フォンドメントなどのベルギー国内外の一流の古楽オーケストラで演奏を重ねてきた。またベルギーの若手古楽オーケストラのバッハ・プラスの音楽監督を務め、レ・ムファッティ、カプリオーラ・ディ・ジョイアでは常任指揮者として多くのコンサートを指揮する。

2018年より王立ブリュッセル音楽院のチェンバロ科の教授に就任する一方、ルーヴェンのレメンズ音楽院のオルガン科の講師も務めるなど、後進の指導に当たっている。



アマリリス・ディールティエンス (ソプラノ歌手)

Amaryllis Dieltiens, soprano

ベルギー・ブルージュ出身のバロックソプラノ歌手。

2009年にはオランダのオペラ劇場ナショナルレイズオペラで『イポリートとアリシー』ディアナに仕える巫女役、そして女狩人としてデビュー。2011年にはヤン・ヴィレム・デ・フリエンド指揮のもとG.F.ヘンデル作曲『オルランド』アンジェリカ役として出演を果たす。

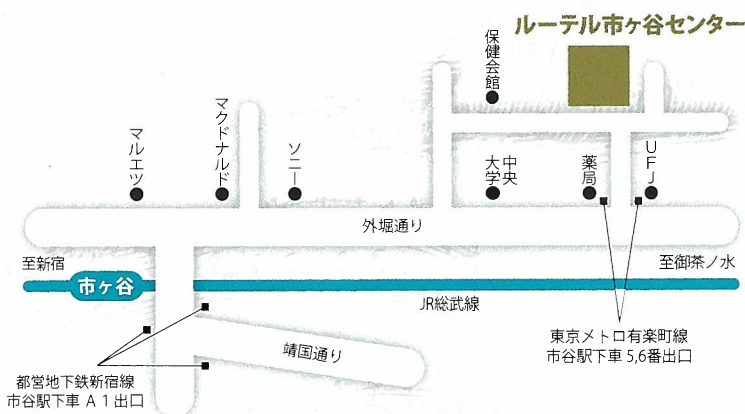
18世紀オーケストラ、ベルゲン・フィルハーモニー交響楽団、オランダ・バッハ協会、ハーグ・レジデント管弦楽団、アムステルダム・バロックオーケストラ、ムジカ・アド・レヌム、B'Rock オーケストラなどにソリストとして参加し、現在は初期イタリアバロックのレパートリーを中心に幅広く活動している。



カプリオーラ・ディ・ジョイア (古楽アンサンブル)

Capriola di Gioia, early music ensemble

2007年に指揮者と通奏低音のバルト・ナーセンスとバロックソプラノ歌手のアマリリス・アマリリス・ディールティエンスの夫妻によって設立された。ベルギー王立ブリュッセル音楽院図書館のコレクションから17、18世紀のあまり知られていない作品にスポットライトを当て演奏を行う。アンサンブルはデュオからオーケストラまで、レパートリーに応じて編成を組み替える。ドミトリー・シンコフスキー、フランダース・リコーダーカルテットなどの著名音楽家とのコラボも盛んに行う。Aeolus (アイオロス)『ボッケリーニ: スターバト・マーテル(原典版) コンサート・アリア集』、『美しい姿~イタリア・バロックの至宝~アレックスサンドロ・スカラルラッティ、ポノンチーニほかの歌曲集』、『イタリアのカンタータ集~ハイニヒェン、スカラルラッティ、サンチェス、ルダーラ他』、『イタリア・バロックのクリスマス音楽~フレスコバルディ、モンテヴェルディ、ピッチーニほかの歌曲集』、『痛ましい別れ~クラヴィオルガンに乗せて歌うイタリア歌曲集』、EPR Classicレーベルから『ボッケリーニ: コンサート・アリア集』など計6枚のCDを発表。仏音楽雑誌のディアパゾン誌やクラシカ誌に賞賛される。



ACCESS MAP

ルーテル市ヶ谷センター

〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1

TEL 03-3260-8621 FAX 03-3260-7510

E-mail info@l-i-c.com HP <http://www.l-i-c.com/>

交通アクセス〈公共交通機関〉

- JR総武線市ヶ谷駅下車 地上出口 徒歩7分
- 都営地下鉄新宿線市ヶ谷駅下車 A1出口 徒歩7分
- 東京メトロ有楽町線市ヶ谷駅下車 5,6番出口 徒歩2分
- 東京メトロ南北線市ヶ谷駅下車 5,6番出口 徒歩2分